

農 研 速 報

麦の生育状況(6月14日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月4日播種 小麦 (さとのそら)	収穫終了	平年並 (1日遅い)	気象概況:5月第1半旬~6月第2半旬(過去5年間の平均値との比較) 平均気温は18.9℃で、平年(18.2℃)に比べやや高かった。 降水量は105mmで、平年(204mm)に比べ少なかった。 日照時間は280時間で、平年(292時間)に比べやや短かった。  生育状況(過去5年間の平均値との比較) (11月4日播種) ●さとのそら:成熟期は6/10で、前年より7日遅く、平年より1日遅い平年並だった。 稈長は89.4cmでやや長く、穂数は890本/㎡でかなり多かった。 ●カシマムギ:成熟期は5/25で、前年より1日遅く、平年より2日早い平年並だった。 稈長は89.4cmで平年並で、穂数は642本/㎡でやや多かった。 ●カシマゴール:成熟期は5/24で、前年より1日遅く、平年より3日早かった。 稈長は90.1cmで平年並で、穂数は752本/㎡でやや多かった。 (11月18日播種) ●さとのそら:成熟期は6/12で、前年より5日遅く、平年と同日で平年並だった。 稈長は84.3cmでやや長く、穂数は845本/㎡でかなり多かった。	・「成熟期」とは、莖葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑色が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼ馴染みの固さに達した粒をつける茎が、全穂数の80%以上に達した日を指す。
	六条大麦 (カシマムギ)	収穫終了	平年並 (2日早い)		・「対年遅速」は成熟期を基に表記した。
	(カシマゴール)	収穫終了	やや早い (3日早い)		
	11月18日播種 小麦 (さとのそら)	収穫終了	平年並 (平年と同じ)		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	成熟期			登熟日数			一穂粒数					
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年		前年		平年	
			(月・日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	稈実粒数 (粒/穂)	不稈率 (%)	稈実粒数 (粒/穂)	不稈率 (%)	稈実粒数 (粒/穂)	不稈率 (%)
11.4	小麦	さとのそら	6.10	7	1	50	1	3	30	41.8	26	41.8	26	38.0
		カシマムギ	5.25	1	-2	39	-6	-1	55	14.6	55	13.7	49	17.0
		カシマゴール	5.24	1	-3	41	-5	-2	50	14.3	46	16.1	44	15.7
11.18	小麦	さとのそら	6.12	5	0	49	0	3	33	40.1	26	33.2	27	36.9

播種期 (月・日)	麦種	品種名	稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年	平年
			(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	(本/㎡)	(本/㎡)			
11.4	小麦	さとのそら	89.4	-6.6	+3.4	8.9	-0.4	+0.4	890	+70	+155	0.0	0.0	0.0
		カシマムギ	89.4	-6.1	+2.4	4.5	+0.3	+0.1	642	-8	+83	0.0	5.0	1.5
		カシマゴール	90.1	-7.1	+3.2	4.2	+0.4	+0.2	752	-83	+86	0.0	5.0	1.0
11.18	小麦	さとのそら	84.3	-9.7	+3.6	8.6	-0.6	+0.2	845	-38	+191	0.0	0.0	0.0

1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑)

3)施肥量:N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.6-0.8-0.7kg/a

5)平年値:平成23~平成27年播種の結果の平均。

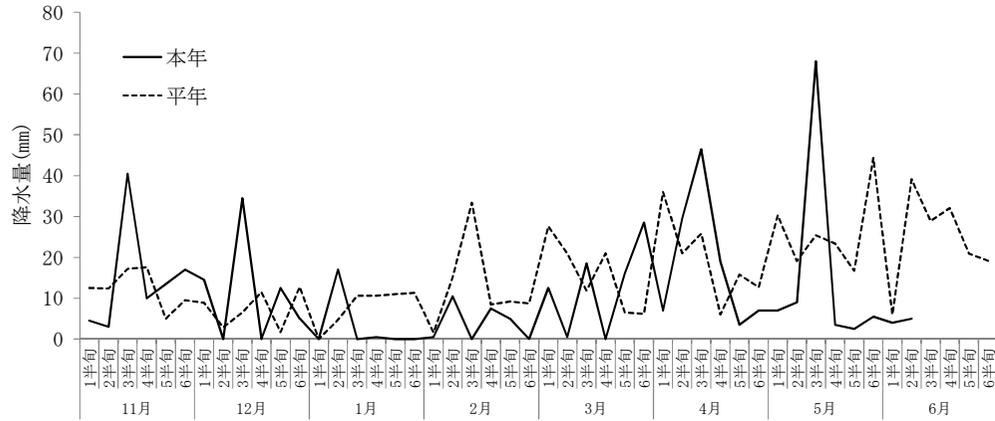
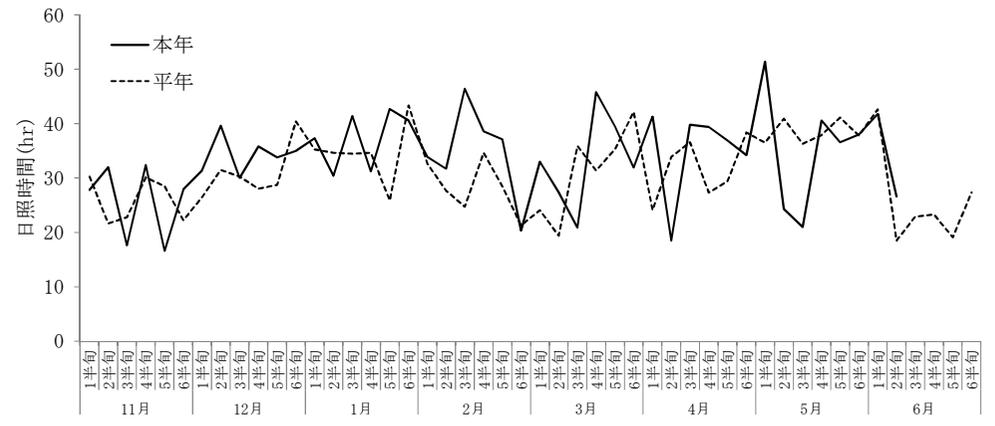
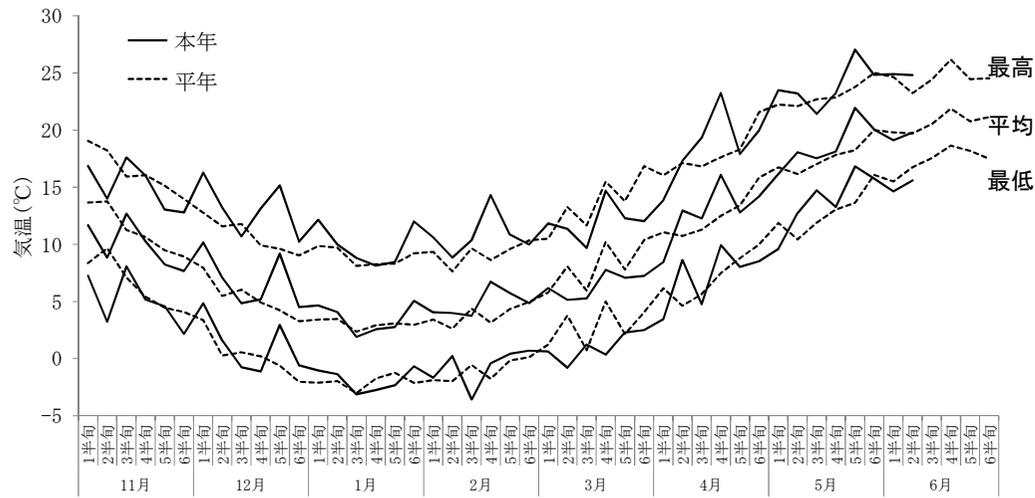
7)登熟日数:出穂期から成熟期までの日数。

2)播種量:0.8kg/a

4)畦幅30cm、シーダーテープ播種

6)麦踏み:12月9日(11月4日播種のみ)、1月5日、2月2日、2月24日

8)倒伏程度:0(無)~5(甚)



平成28～29年半旬別気象経過図  
 (水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)



さとのそら 11月4日播種(6月12日撮影)



カシマムギ 11月4日播種(5月25日撮影)



カシマゴール 11月4日播種(5月25日撮影)



さとのそら 11月18日播種(6月12日撮影)

## 気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。  
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。  
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

